

## 令和4年度 体力向上における各校の成果(小学校)

越前町

教育委員会

No	学校名		成 果
1	朝日	小学校	95%以上の児童が、学校評価で「業間体育では、楽しく体を動かすことができた」と肯定的な回答をした。 90%以上の児童が、学校評価で「正しい姿勢を意識して生活できた」と肯定的な回答をした。
2	常磐	小学校	持久走やなわとび、一輪車、竹馬を使った運動に積極的に取り組ませた。 ①持久走は1回目の記録をもとに自己目標を立てさせ、月1回の記録測定をすることで、児童は目標達成しようと意欲的に取り組み、多くの児童が自分の目標を達成した。 ②また、目標を達成した児童には、新たな目標を設定させたことで、継続して取り組むことができた。 ③他の運動でも、目標カードにシールを貼ることで、達成感をもちながら取り組むことができた。
3	糸生	小学校	学校アンケートでの「わかる・できるようになるために考えながら運動に取り組むことができたか。」という問いに対する肯定的な回答が94%だった。 授業やアンケートの結果から、「考えて行動できる子」の育成の成果が伺える。
4	宮崎	小学校	児童アンケートの「体育の授業や行事で、がんばりカードを活用して、目標を持ち、進んで取り組むことができたか。」に対する肯定的な回答は、95%であった。 児童一人一人が自分の目標に対して、前向きに運動に取り組んだ成果と言える。
5	四ヶ浦	小学校	「業間体育や体育的行事に向けて、目標をもって取り組めた」というアンケートに対し、98%の児童が「取り組めた」もしくは「どちらかというと取り組めた」と回答した。 3学年合同で陸上練習を行うことで、モチベーションが上がる、下学年は来年の目標ができる、種目の担当教員が固定される等のメリットがあった。 「チーム対抗持久跳び」の実施により、持久跳びを跳べるようになった児童が多くみられた。
6	城崎	小学校	体育的業間運動では、目標を考えたり、振り返りをしたりする活動を児童が企画・運営することで、進んで体を動かそうとする姿が見られた。 学校保健委員会では、アンケート調査や地域のお年寄りへのインタビュー、生活習慣に関する劇等で普段の生活を親子で振り返り、健康的な生活習慣について意識を高めることができた。
7	織田	小学校	体力テストの結果より、「運動が好き」と肯定的に回答した児童が昨年度は62%だったが、今年度は68%と上昇した。「運動が嫌い」と回答した児童は、10%から4%と減少し、運動に親しめる児童が昨年度よりも増えていたといえる。 1000m走大会では、約70%の児童が昨年よりタイムが向上した。完走証を渡す等の工夫を凝らしたことで、昨年より103秒もタイムを向上させた児童がいた。
8	萩野	小学校	児童の学校評価のアンケートでは、90%以上の児童が「意欲的に運動に取り組んだ」と回答している。これは個人や同学年間、異学年間で設定した、めあてに向かって協力し合えるような授業づくりや行事を意識した成果であると考えられる。